

全国学力・学習状況調査（令和8年度問題） 振り返り表（中学校数学）

3年 組 番

氏名

／16問

に○、×を書いて自己採点をし、振り返りましょう。

1

2

3

4

5

6

(2)

(3)

手順にしたがってできたAとBについて、
 A-Bの値は、選んだ2数の
 差の91倍になる。

7

	関連する単元名	教科書のページ
1	中1 正負の数	中1 P. 19～62 特にここ → P. 34～36
2	中2 式の計算	中2 P. 11～34 特にここ → P. 14～15
3	中2 平行と合同	中2 P. 95～110 特にここ → P. 103～104
4	中1 比例と反比例	中1 P. 117～156 特にここ → P. 140～144
5	中2 確率	中2 P. 161～178 特にここ → P. 169～171
6 (1)	中2 式の計算	中2 P. 11～34 特にここ → P. 23～26
(2)	中2 式の計算	中2 P. 11～34 特にここ → P. 23～26
(3)	中2 式の計算	中2 P. 11～34 特にここ → P. 23～26
7 (1)	中1 比例と反比例	中1 P. 117～156 特にここ → P. 130～131
(2)	中2 1次関数	中2 P. 57～94 特にここ → P. 83～85

(2) 説明 ※【グラフ】【式】【表や数値】のいずれかで求める方法が記述されていれば正解。

原点Oから点Dまでの点が一直線上にあるとすると、動画の時間とデータ量が比例していると考えられるから、

【グラフ】
 ・原点Oから点Dをもとに、直線のグラフをかき、y座標が1000のときのx座標を読む。

【式】
 ・対応するxとyの値をもとに、xとyの関係を比例の式で表し、その式にy = 1000を代入し、xの値を求める。

【表】
 ・表のxとyの数値から比例定数を調べ、その比例定数でyの値が1000になるときのxの値を求める。

に○、×を書いて自己採点をし、振り返りましょう。

8 $\angle POB = 2a^\circ$

8 (1)

(2) 証明

8 (2)

$\triangle AOB$ と $\triangle AOP$ において、

仮定より、

$AB = AP \dots\dots ①$

$OB = OP \dots\dots ②$

共通な辺だから、

$OA = OA \dots\dots ③$

①、②、③より、3組の辺がそれぞれ等しいから、

$\triangle AOB \equiv \triangle AOP$

合同な図形の対応する角は等しいから、

$\angle AOB \equiv \angle AOP$

《振り返って確かめてみよう》

8	関連する単元名	教科書のページ
(1)	中1 文字と式	中1 P. 63~90 特にここ→P.66~68
(2)	中2 平行と合同	中2 P. 95~124 特にここ→P.116~117
(3)	中2 平行と合同	中2 P. 95~124 特にここ→P.116~117

(3) I 才 II ア

8 (3) ※(3)は、2つとも合っていたら○

9 ア 90

9 (1)

(2) I ウ II 才

9 (2) ※(2)は、2つとも合っていたら○

(3) 説明

9 (3)

2つの度数分布多角形が同じような形で、就寝時刻が23時より前の生徒の度数分布多角形よりも、就寝時刻が23時以降の生徒の度数分布多角形の方が左側にある。

したがって、就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある。

9	関連する単元名	教科書のページ
(1)	中1 データの分析と活用	中1 P. 225~248 特にここ→P.228~229
(2)	中2 データの比較	中2 P. 179~192 特にここ→P.182~184
(3)	中1 データの分析と活用	中1 P. 225~248 特にここ→P.231~232

《次へのステップ!~わたしの課題と目標~》

・今後、取り組みたいこと、頑張りたいことをかこう。(具体的な問題や単元名、学習の方法など)